

令和3年度第5回阿波おどりネットワーク会議 議事概要

日時：令和3年10月15日（金曜） 午後3時～

場所：徳島市中央公民館7階 大ホール

議題：「2021 阿波おどり～ニューノーマルモデル～」事業報告について
阿波おどり事業運営体制等検討委員会の中間報告について

出席者：委員13名

内藤座長（徳島市長）
利穂委員（徳島県観光政策課長）
鈴田委員（徳島市経済部長）
矢田委員（一般財団法人徳島県観光協会 理事長）
犬伏委員（公益財団法人徳島市文化振興公社 事務局長）
山田理事長（阿波おどり振興協会 会長 朝日委員代理）
池田委員（徳島県阿波踊り協会 副会長）
七條委員（徳島県阿波おどり保存協会 理事長）
森浦委員（徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長）
木内委員（徳島商工会議所青年部 会長）
小松委員（公益財団法人徳島経済研究所 事務局長）
高木委員（水際文化村フレンドリー協議会 会長）
東委員（徳島大学病院 感染制御部部长）

【会議の内容】

1 開会

2 議題1 「2021 阿波おどり～ニューノーマルモデル～」事業報告について (内藤座長)

今年の阿波おどりにつきまして、「徳島の宝」である阿波おどりを次世代に、そして、未来につなげていくため、2年連続の中止は絶対に避けなければならないとの想いのもと、徳島市主催により、万全の感染症対策を講じた「2021 阿波おどり～ニューノーマルモデル～」として開催しました。

期間を通じて、大きな問題等もなく無事に開催できましたことに対しまして、ご支援・ご協力をいただきました委員の皆様、そして全ての関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

8月12日の前夜祭では、徳島県阿波踊り協会、阿波おどり振興協会による優雅で艶やかな演舞や多彩な演出が行われ、また、8月13日、14日の選抜阿波おどりでは、新しい試みとして、次世代を担う学生連が参加しての若さ溢れる躍動感ある演舞

を披露いただきました。

そして、最終日8月15日のグランドフィナーレでは、一般連にも参加いただき、華麗で力強い踊りと「総踊り」、そして眉山からの花火により、2年ぶりの「ぞめきのある夏」を復活することができました。

改めて、阿波おどりは徳島の伝統文化であり、未来に受け継ぎ守っていかねばならない「大切な宝」であると実感いたしました。

来年度以降の阿波おどりにつきましては、現在、阿波おどり事業運営体制等検討委員会において、これまでの運営体制等についての課題等の検証を進めております。今後提出される提言書を踏まえまして、委員の皆様からもご意見を頂戴したいと考えております。

(事務局)

資料1 2021阿波おどり～ニューノーマルモデル～事業報告書について説明。

(内藤座長)

今年の阿波おどりについて事務局から報告がありましたが、まずは阿波おどり団体からご意見やご感想を伺いたいと思います。

(池田委員)

私ども徳島県阿波踊り協会は舞台踊りしか参加していなかったもので、その点について感想を申し上げたいと思います。

舞台への連の入れはけを一方通行にしていいただきたいと要望をしていましたが、それができており、密にならずにスムーズに移動ができたのは大変良かったです。今後もそのような形でやっていただけたらありがたいと思います。

また、新ホールについてもそういった入れはけができる構造になっていれば、災害時など、避難する時に活用できるのではないかと思います。

YouTubeでのライブ配信については、全国や海外からコメントがダイレクトに見ることができ、新しい試みで面白かったと思います。

(山田委員)

池田委員からもお話があったように選抜阿波おどりを含め、舞台公演での新型コロナウイルス感染症対策については、東委員からもご指摘もいただきながら、きめ細かく各連長以下連員に周知徹底し、舞台関係者の協力をいただきながら実施できており、及第点を付けてもいいのではないかとというぐらい完璧にできたと思っています。

8月15日まではとくしまアラートが比較的低いレベルという状況であり、当初の計画で中止を含めた4案が示された中で、徳島市としては栈敷を中止し、B案とC案を合わせたような形とし、入場料も無料にするなどの色々な工夫を事務局で練っていただきながら実施されたと思います。今年の阿波おどりをどうするのかと言われた時には様々な意見があり、新聞報道等についても比較的反対意見ばかりが掲載されていたと思いますが、8月15日以降は感染状況が悪化し、とくしまアラートが最上級に

達していたことが記憶に新しい中、徳島新聞社と徳島県文化振興財団が主催の阿波おどり巡回公演を実施されています。この巡回公演を実施していくことについての報道等のPRは凄まじいものがあるのに対して、どうして徳島の一大イベントの阿波おどりには報道関係者からは協力をしていただけなかったのかという率直な意見です。そして現在行われている巡回公演には多くの徳島県阿波踊り協会の方を参加されており、やり方によっては参加できるものだと思います。

グランドフィナーレについては、振興協会の全ての連と一般連を含め、20連が参加し、屋外会場で開催しました。300を超える連に呼びかけながら、当日の参加連が20連ということについて、若干少ないという指摘もあったと思います。徳島県阿波踊り協会に対しても事務局からグランドフィナーレの趣旨を説明し、協力要請を行ったと思いますが、その仕方が足りなかったのではないかと思います。もっと積極的に依頼をしながら実施していれば、グランドフィナーレにも何連かは参加していただけたのではないかと残念な気持ちがあります。

次年度以降は「ワンチーム」で皆様方の知恵や私たちの経験を生かしながら、やれるべき部分をやっていこうということで、このネットワーク会議が開催されたと思っております。

そういった意味からすると、今年の阿波おどりについては、市長の「やり切った」という言葉が一部批判されていることもありますが、グランドフィナーレの場において、私自身も一生懸命、出発点からゴール地点まで何往復もしながら、公演時間やライブ配信の放送時間などを考慮しつつやってまいりましたので、やり切ったというイメージはあります。ただ、通常の阿波おどりのように大人数でエネルギッシュな実施は、新型コロナウイルスの感染拡大できなかったことは仕方なかったですが、反省点を残しながらも、開催したことについては良かったと総括していただければと思います。

最後になりますが、入場の際に若干の混乱がSNSで言われていたことがありました。そういったところは改善しなければいけないと思っていた矢先に、市長自らチケット入場者の整理を会場入口で行っていました。一般の方は市長だと分からないかもしれませんが、報道関係者は市長だと分かるはずですが、そのような市長の姿勢に対する報道はありませんでした。そういった意気込みで責任感を持ち、実施したことをこの場で委員の皆様にもお知らせをしなければいけないと思います。繰り返しになりますが、このような姿勢で臨んだ今年の阿波おどりについては紆余曲折あったと思いますが、感染対策を実施しながら頑張ったのではないかと思います。

(七條委員)

今年は私どもの協会は参加できなかったのですが、4日間クラスターを出すことも事故もなく終えたことが本当に良かったと思っております。

来年に安心・安全な阿波おどりが開催されることがあれば、私どもの協会も参加協

力させていただけるよう活動を広げていきたいと思っております。

(内藤座長)

次に感染症対策マニュアルの策定など、2021阿波おどりの感染症対策にご助言いただきました東委員いかがでしょうか。

(東委員)

クラスターを出すことなく終えていただき、本当に感謝申し上げます。

私はマニュアル作成等にアドバイスをさせていただいただけなので、徳島市職員の方や現場で直接指導された責任者の方が一番大変だったと思います。

会議の中でアラートレベルによっては中止を判断するなど紆余曲折ありましたが、徳島県民のために県外客は呼ばないなどの素早い決断をしていただいて良かったと思います。

会場に行きご指導させていただければと気にはなっていたのですが、先ほどのお話を聞くと感染対策を万全にさせていただけたということなので、お礼申し上げたいと思います。

アンケートにもありましたが、阿波おどり開催時にはワクチンを接種していない世代の方がおり、開催後、第5波で低年齢の方に感染が拡大し、中等症や重症となった方もいました。とくしまアラートがステージ4になってどこも大変だったのですが、今はワクチン接種も進んでおり、次の夏に踊れたらいいなと思うので、しっかりとブースター接種を行うだとか、ワクチン接種率を高めるなど施策が進んでいき、踊り子の健康を守るということも考えていかれると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(内藤座長)

他の委員さんに意見を伺いたいと思います。

(高木委員)

徳島市の皆様をはじめ、有名連の方々はコロナ禍で大変な時期に感染拡大防止という作業をしながら、阿波おどりが成功されたことにつきましては、お疲れまでした。

今年は阿波おどりニューノーマルモデルということで、伝統文化として有名連による前夜祭や選抜阿波おどりが披露され、とても素晴らしいと思いました。次世代への継承ということで、はじめて学生連が有名連と一緒に選抜阿波おどりに出演されたことはすごく良かったと感じました。この次世代への継承というのは、これからの阿波おどりにすごく大事だと心から感激しました。私も見に行ったのですが、感染対策は万全で安心して見ることができました。

グランドフィナーレに関しては、YouTube 配信やケーブルテレビを通じて徳島県内の多くの方が見られていたと思います。後日、YouTube 配信を県外の阿波おどりに来ることができなかった人に伝えたらと、とても感激して、最後の眉山に花火が上がるシーンでは涙が出るぐらい感激したという声をたくさん聞いて、改めて阿波おど

りというのは継続は力なりということで、こういった形でも継続していくことが徳島の伝統文化に繋がり、次世代に継承していかなければいけないものだと実感しました。
(矢田委員)

新型コロナウイルス感染症が2カ月早く収束していれば本当に良かったなとしみじみと感じている次第です。短期間で二転三転するぐらい非常に読みにくい激動の中で、色々な再考を含めて、報道がアゲインスト中でこのように無事に開催できたというのが、観光事業者の代表として経済を回してほしいといことに軸を置いている部分が多々あるので良かったと思っています。阿波おどりを次世代に継承するために2年連続の中止は避けたい、中止を判断するのは簡単だが最後まであがきたいという風におっしゃられた市長の英断に敬意を表したいと思っています。

色々な課題はあると思いますが、先ほど高木委員も言われていたように、どのような形であれ、継続できたということは非常に喜ばしいことであり、厳しい状況の中、行政の支援無くしては成り立たなかったことも事実です。今後、「徳島の宝」として阿波おどりを掲げるのであれば、「ワンチーム」となって行政を含めた総力戦で盛り上げていかなければいけないと痛切に感じました。コロナ収束後は、経済が回っていくと思うのですが、2年にわたり経済が止まると、観光事業者にとっては非常に厳しく、存亡の危機に陥ってしまいます。雇用や旅行消費額等を考えると、観光無くしては人口減少が著しいこのエリアにおいて回っていかないことを再認識していただいて、外から阿波おどりがどう見られるかということのを頭に置きながら盛り上げていくと、それぐらい阿波おどりは全国から注目されています。

県外の知り合いから徳島の阿波おどりは開催するそうだとということで、さすが徳島だという風に言われました。その時期はコロナの感染拡大が厳しく、各地の踊りが中止になる中で、徳島の阿波おどりだけが開催するということが発信できて、その反応が非常にあったということのを徳島市民として誇りに感じる事ができました。

そういったことを含め、色々なことがありましたが、先ほど山田委員の話にもありましたように、「ワンチーム」で総力を挙げて「徳島の宝」の阿波おどりを支援していく体制が必要だということが今年度事業において明らかになったと感じております。

(内藤座長)

関連して森浦委員いかがですか。

(森浦委員)

阿波おどりを開催していただいた方には敬意を表します。

観光協会の矢田理事長が言われたように、行政が柱とならなければ、開催できなかったのではないかと思います。

以前の会議で県外客をどうにか入れることができないかとお願ひしていたのですが、開催当時は非常にコロナ感染が拡大し、難しかったと諦めておりますが、できれば県外の方もPCR検査済みの方やワクチンを2回接種した方については入れてほしかった

と今でも思っております。

今年は、墓参りのための里帰りについては、身内が止めたこともあり、宿泊者数が普段より非常少なかったですが、これについても仕方ないことだと思っております。

コロナ感染も収まりかけておりますので、今年を教訓にして、来年に向けて頑張っていたきたいと思っております。

(内藤座長)

委員の皆様からいただいた意見は今後の阿波おどり事業に生かしていきたいと考えております。

3 議題2 阿波おどり事業運営体制等検討委員会の中間報告について

(事務局)

資料2 阿波おどり事業運営体制等検討委員会の中間報告について説明。

(内藤座長)

今後、阿波おどり事業運営体制等検討委員会から提出が予定されている提言内容を踏まえ、このネットワーク会議の委員の皆様にもご意見をいただきたいと考えております。

事務局から中間報告の概要について説明をさせていただきましたが、ご意見等はいかがでしょうか。

(山田委員)

検討委員会での結果をネットワーク会議にも提示しながら意見を求めて、参考にしたいとのことですが、ネットワーク会議への報告もさることながら、報道機関を含め、徳島市民・県民の1人でも多くの人に提言内容をわかりやすく周知していくためには、どのようにしていけば良いのかを行政として考えていただければと思います。

(内藤座長)

先程、委員の皆様から色々なご意見をいただきましたが、今年の阿波おどりは本当に紆余曲折あったと思います。阿波おどりは「徳島の宝」だと思っており、2年連続の中止はできれば避けたい、どんな形でも阿波おどりをやりたいという想いで皆様のご協力を仰ぎながら開催することができました。本当に感謝をしております。

山田委員からもご意見ありましたが、空いている時間は私も会場に行き、来場者の列が長いのであれば、少し早い時間に開場するなどの微修正をさせていただきました。また、学生連の子たちからも直に声を聞ける機会もありました。選抜阿波おどりで踊れるという機会は今まで1度もなく、去年については阿波おどりを踊れる機会さえもなかったので、今年こういった形で踊る機会が得られたというのは本当に良かったと高校生、大学生からご意見いただきました。

高木委員からご意見ありましたが、どういう風に若い世代がこれかわの阿波おどりに関わってもらおうかということについて、そういう子たちが続いていかないと阿

波おどりを2年、3年、5年やらなくても阿波おどりは続くというご意見があると思いますが、栈敷で有名連を見たいと観光客が県外から来られた場合に、ある程度のクオリティを担保しないといけないと思います。そのクオリティを担保するためには、一生懸命、年中練習をするような若い世代が有名連で踊れるように育成していかなくてはならないと考えています。

有名連だけでなく、高校生や大学生などの連で踊って有名連に参加する。高校生や大学生の阿波おどりの部活を作る、踊りの裾野を広げていくというようなことをやっていかなければ、阿波おどり、観光の未来はないと思っています。

今年はグランドフィナーレを田宮の陸上競技場で実施しましたが、色々な方からYouTube 配信やケーブルテレビを見て、すごく良かった、眉山の花火も良かったよという声をたくさんいただいた一方で、栈敷で踊りたいという声が非常に多く、徳島の街中が熱気で溢れるような阿波おどりをやりたいと心から思いました。

そういう意味で徳島の街中、駅前も大切にしていかなければいけないと思っており、中心市街地活性化基本計画や本日、アミコビルに高松三越がオープンしましたがけれども、阿波おどりだけでなく、徳島の皆様「ワンチーム」で盛り上げていただけますようお願い申し上げまして、本日の会議を終わらせていただきたいと思います。

4 閉会